

76年前を忘れないで！

読み谷小学校 6年 2組 比嘉 ころ

私たちは、学校に通い、友達と家族に囲まれ毎日美味しいご飯を食べています。そんな穏やかな暮らしをしていますが、76年前までは、人々が殺し合いをし、罪の無い人まで命が奪われました。私は、戦争の中で大切な人が目の前で消えると考えたと戦争は二度とくり返えしてはいけないう。とても強く思いました。

2

1945年4月1日、米軍が沖縄本島に上陸した際、このガマ(千比千リガマ)には地元住民約140人が避難していたそうです。当時の人々は、学校などで生きて敵国の捕虜になるよりは死ぬべきという考え方を教え込まれていました。米軍は「デテコイ、コロサナイ」と呼びかけましたが、中の人たちは、その言葉を信じず、「米軍に殺されてしまおう」と考えました。そして翌日、身内に毒を注射したり、布団に火をつけたりして自決。ここ

では85人(うち2人は米軍の手榴弾による死亡)が犠牲になりました。私は、千比千リガマヤツムクガマなむしか聞いたことがなくて、ほかのガマがあるか調べることにしました。沖縄県にはガマと呼ばれる自然壕が、県内各地にあるそうです。その中でも有名なガマというものがどどろきごうという東西におよそ約100メートル延びる巨大なガマだそうです。このどどろきごうというガマでは、日本兵による横暴の中600人もの住民・県庁職員が

生き残ったと言われています。沖縄戦が始まる前から、周辺住民の避難壕として整備、使用されていて、戦中は最大1000人以上の住民や日本兵が避難していたとされているそうです。私はこのどどろきごうでは、600人もの人々が生き残ったと見たときとても感心しました。

人々全員が毎日ご飯が食べられるというわけでもなく、とても苦しい思いをしながら生き残ったということは、戦争が終わった時とても

うれしくて、そして悲しかったんだろ。うなと
 思いました。私は、小さい時好ききらいして
 いたことを思い出しました。でもそんな時父
 は、今、どこかでご飯が食べれていない所も
 あるんだよ。そして、その人はろくに何も食
 べれていないのに、ご飯をのこすというこは
 食べれなかつた人にして、れいだよと言っ
 てい
 ました。今、このことを思い出すと、ご飯のあ
 りがたさを理かいていないなと思いました。
 また、あらためて戦争は、二度とくり返えし

てはいけないと強く思いました。ガマなどを
 心霊スポットと言っ、てあらしたという例もあ
 ります。こういうことかぜ、たいにないよう
 に自分のやれることを全力でつくしたいです。